

意見・質問	回 答
<p>①共生型サービスは入ってないのですか。来年4月から共生型サービスをやらないといけないと思うが、4月からスタートするがこの計画には組み込まなくて良いのか。</p>	<p>○共生型社会について、障害の施設に介護の対象者が入れるような制度設計になっています。その分については鳥栖地区広域市町村圏組合で協議を行っています。</p> <p>⇒P 28 1 基本理念に、～超高齢社会への適切な対応や<u>地域共生社会の実現に向けた取組の推進</u>と～を記載</p>
<p>②移動販売等の買物支援ですが、是非ともこれを推進していただきたいと思っている。</p>	<p>○移動販売について検討中のこととお話しさせていただきます。他自治体ではローソンと生協が提携を結び、皆さんが集まれるような場所に移動販売をしている事例もございます。鳥栖市では通いの場が16ヶ所立ち上がっていますので、そちらを回っていただければというところで協議を進めています。</p>
<p>③高齢者等の見守り協定について、現在、地域の方とのネットワークで見守りをしている。ただ、多様性があり、協力してその人に合った見守りをしていかなければいけない。是非とも見守りネットワークとの連携をお願いしたい。</p>	<p>○見守り協定については、業者、例えば新聞配達や牛乳配達の方が通常の業務の中で、新聞が溜まっている等、いつもと違う状況を確認した際に市役所に連絡をいただけるような仕組みを考えています。</p>

意見・質問	回 答
<p>④食の自立支援を拝見しましたが、高齢者人口が増えてきている中で、今後の見込み数が横這いになっているのは、買物支援を見込んでのものか。また、施策の方向性のところで、適正化を図っていくと書いてあるが、配食サービスの提供基準を見直される意図があるのか。</p>	<p>○食の自立支援につきましては適正化を図っていくと書いておりますが、食数を減らすという意図はございません。必要な食数を配達できるような形でやっていこうというところで、削減ありきという考え方は全くありません。私どもとしては、食の自立支援ということで食事が上手く取れて、介護予防にも繋がるのであればそちらを積極的に進めていきたいと考えています。そして、この食数の減少につきましては、確かに、平成24年に点数化を導入して適正化を図ったところですが、ピークと比べますと食数で約半分になっていません。</p>
<p>⑤配食サービスは、鳥栖市でやらなければならないものですか。</p>	<p>○配食サービスは、見守りをメインに考えているところでして、配達するときに併せて見守りをさせていただくということで、食の自立支援と見守り活動を両立させた事業です。見守りという観点から必要だと思っております。</p>
<p>⑥在宅高齢者住宅改良費補助事業ですが、介護保険の要介護・要支援を受けた方の上乗せ分ということになっているが、要介護・要支援にならないと使えないのか。実際、在宅で自立支援をするとすると、四六時中マンパワーがつくことはできないので、住環境を整える支援が大事になってくると思うが。</p>	<p>○在宅高齢者住宅改良費補助事業につきましては、介護保険の開始以前からあった事業で、その当時の補助率を維持できるように介護保険から上乗せしている制度です。</p>

意見・質問	回 答
<p>⑦通いの場の形でとすっこ体操等を実施かと思うが、男女の比率はどうなのか。男性が食いつくような取組ができないのかと思うが。</p>	<p>○女性が多くなっています。男性の方も役割を持っていただけると参加する方もいますが、外に出てきていただくまでが課題と考えています。現在、介護予防サポーターの方に養成研修を行っていますが、こちらに男性もいらっしゃいますのでそういった方にと考えています。</p>
<p>⑧県の長寿社会振興財団で「ゆめさが大学」というのをやっていて、鳥栖はどれくらい参加者がいるのかわかりませんが、県全体で見ると卒業生がボランティアに参加している。鳥栖にいるのであれば、そういう方に声をかければ食いつきがあるかもしれないと思う。</p>	<p>○サポーター事業を始めるときに県の長寿社会振興財団に相談させていただきました。「ゆめさが大学」を卒業された方についてもやはりボランティアをやりたいがこの地域に制度設計ができていないということでしたので、こちらの方から1月から3月頃にお声かけをさせていただき、この事業に参加していただこうと考えております。</p>